

# 環境デザイン学科

## 学科のアドミッション・ポリシー(AP: 入学者受入の方針)

### <求める入学者像>

(知識)

1. 高等学校で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などに関して、高等学校卒業相当の基礎学力を有している。

(思考・判断)

2. 目標を達成するために、多面的視点から論理的に考察し、自己の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲・協働)

3. 環境サステナビリティ・地域デザイン・防災に関して、知的好奇心と学ぶ意欲を有している。  
4. 社会全体の利益に配慮する公共心を持って、様々な人々と協働しながら熱意を持って地域社会の課題解決に取り組む姿勢を有している。

(技能・表現)

5. 他者の意見を理解し、自己の考えをわかりやすく表現できる対話力がある。

## 学科のカリキュラム・ポリシー(CP: 教育課程編成・実施の方針)

環境デザイン学科では、環境デザインに関わるフィールド実習に基づく課題解決型学習をカリキュラムの基軸に据えて、その実践的課題解決に必要な関連基礎・専門科目を有機的に学びます。

1. 学科必修・選択必修科目では、環境デザインに関する基礎知識を学んだ上で環境サステナビリティ領域と地域デザイン・防災領域において、地域社会・環境に関する課題について、体系的かつ実践的に学ぶ。特に、学科の共通分野として、自然環境・社会環境・人間活動の相互関係を総合的に理解する専門科目を学びます。
2. 理論と実践をバランスよく学び、地域社会・環境に関連する課題を発見・解決する能力を修得するため、学科共通のフィールドワーク科目及びインターンシップ科目を配置します。
3. 履修コース科目の選択科目では、各領域において理系、文系の横断的知識やさらに深化した専門知識を修得します。特に、環境サステナビリティコースでは、環境影響評価分野と環境保全分野に関わる専門科目、地域デザイン・防災コースでは、地域政策デザイン分野と地域空間デザイン分野に関わる専門科目を配置します。
4. 履修コース科目において、他分野における人間と環境の相互関係の捉え方を理解し、デザインするための基礎的・応用的知識を修得するため、他学部科目の履修を推奨します。

## 学科のディプロマ・ポリシー(DP:卒業認定・学位授与の方針)

### <学習の到達目標>

(知識・実技)

1. 理系や文系の広範な学問領域における基礎的素養を有し、これらを合わせて人間と環境との相互関係を理解し、デザインするための専門的・応用的な知識を修得している。

(思考・判断)

2. 理系及び文系的思考の下、全体を俯瞰する総合的な視座に立ちながら、地域社会・環境の改善に向けた将来ビジョンを策定・調整することができる。

(興味・関心・意欲、態度)

3. 地域社会・環境のサステナビリティに関する諸課題に対して、自ら積極的に関心をもち続けることができる。

4. 地域社会を新たな価値創造へと導こうとする意欲を有し、地域社会・環境のサステナビリティに関する諸課題の解決に取り組むことができる。

(技能・表現)

5. 適切な調査・分析方法を用いて、自然環境との共生をもたらす地域社会デザインに必要な情報を収集・整理・分析することができる。

6. 自らの考えを的確に表現し、他者との間で討論・対話することができる。

(リーダーシップ)

7. 地域社会・環境の諸課題の解決へ向けて、サーバントリーダーシップを発揮することができる。